

令和元年度第2回

大阪府地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所評価委員会

議事要旨

- 1 日 時 令和元年7月22日（月）午後1時30分から午後4時30分
- 2 場 所 マイドームおおさか 8階 第3 会議室
- 3 出席委員 金子委員長、正司委員、竹中委員、谷委員、間藤委員、山本専門委員
- 4 議事内容

（1）平成30 事業年度業務実績に関する評価について

- 平成30 事業年度の業務実績に係る小項目評価（案）について、前回からの修正箇所を法人及び事務局より報告した。
- その後、事務局より資料3、4に基づき大項目評価結果（案）について説明を行ったうえで、質疑応答及び評価についての審議が行われた。
- 続けて、事務局より知事の評価に係る全体評価について説明し、質疑応答及び審議が行われ、評価に関する意見として異議なしと決定し、参考とされたい主な意見は以下の通りである。

＜主な意見＞

- 大阪産（もん）6次産業化サポートセンター運營業務を通じて、関係機関との連携を深めることにより、6次産業化支援の基盤づくりを進めており、今後さらなる取組に期待する。
 - クビアカツヤカミキリの被害拡大防止に向けて、様々な手法により幅広く周知する等、引き続き府民の安全・安心の確保に努められたい。
 - アメリカミズアブ幼虫による食品廃棄物の減容化と飼料化に関する研究をはじめ、現在取組んでいる研究がさらに発展していくことを期待する。
- 大阪府知事への意見書は、委員長及び事務局で調整のうえ案を作成し、次回委員会において検討することとした。

（2）第2期中期目標期間（見込）実績に関する評価について

- 第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に係る小項目評価（案）について、前回からの修正箇所を法人及び事務局より報告した。
- その後、事務局より資料6に基づき大項目評価結果（案）について説明を行ったうえで、質疑応答及び評価についての審議が行われた。
- 続けて、事務局より知事の評価に係る全体評価について説明し、質疑応答及び審議が行われ、評価に関する意見として異議なしと決定し、参考とされたい主な意見は以下の通りである。

<主な意見>

- 6次産業化に向けた事業者支援の推進、ブドウ生産やワイン醸造の技術開発、アメリカミズアブ幼虫による食品廃棄物処理の技術開発等、これまでに着手した取組をさらに進められたい。
 - クビアカツヤカミキリの被害拡大防止にあたっては、行政と連携することにより、効果的、効率的な取組に努められたい。
 - 生物多様性に関する取組等、法人での調査研究成果を多くの方々に周知するため、あらゆる機会をとらえて情報発信を行っていくことを強く望む。
- 大阪府知事への意見書は、委員長及び事務局で調整のうえ案を作成し、次回委員会において検討することとした。

(3) 第3期中期目標について

- 事務局より、資料7から11に基づき第3期中期目標（素案）について説明し、質疑応答及び審議が行われた。
- 質疑応答の中で指摘のあった箇所については、委員長と調整のうえ文言修正を行い、引き続き、次回委員会において審議を行うこととした。

(4) その他

特になし。

以上